

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 6月25日更新

事務事業名	下水道汚水施設維持管理事業(処理場等)					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	水道局	課長名	坂本 卓博
	施策	20	水の安定供給と排水の浄化			所属課	下水道課	担当者名	浪崎弘太郎、中山義崇
	施策の柱	61	排水の浄化			所属班	下水道班	(内線)	5284
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	根拠法令	下水道法 水質汚濁防止法、浄化槽法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 28 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	特定環境保全公共下水道事業として建設された終末処理場である塩浸川浄化センター、農業集落排水事業計画により建設された農業集落排水施設(蘇水苑、清流館)を適切に運転及び維持管理する事業である。下水道法、浄化槽法に基づき有資格者による維持管理を行う必要があるため、運転及び水質並びに施設の維持管理など、専門業者に業務のほとんどを委託しているが、委託する維持管理状況の確認、指示、指導及び法定検査への対応を市で行っている。また、業務に必要な医薬材料、燃料等の適宜調達管理、機器の故障や不具合に対する補修・改修は直接、市が行っている。供用開始から塩浸川浄化センターで約30年、農業集落排水施設で約20年を経過し、老朽化が進み、機器の故障が増えている。国や県の方針として、今後は施設の統合や広域化を検討するよう通知されているため、老朽化していく施設の更新は、統廃合の可能性を検討しながら、進めていく必要がある。
【業務の流れ】	【故障等への対応】①故障報告受付、②現地調査(緊急であるかの判断)及び改善策の検討・決定、③修繕工事契約事務、④現場打合せ、⑤竣工検査事務、⑥支払事務 【施設の維持管理委託への対応】①現況確認、②維持管理業務設計・積算事務、③維持管理業務契約事務、④月毎の維持管理報告の確認と検査、⑤月毎の支払事務、⑥その他運転管理業務の確認及び指示・指導 【その他】月ごとの水道料金、電気料金の支払い事務、消耗品の発注、燃料の適宜調達事務、法令検査等対応事務
【主な予算費目】	備用品費、光熱水費、修繕費、動力費、薬品費、通信運搬費、手数料、委託料、工事請負費、負担金、保険料
【意見や要望】	老朽化による故障が増えており、維持管理業者より、耐用年数を超えた施設を計画的に機器更新を行ってほしいとの要望があがっている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	塩浸川浄化センター、農業集落排水処理施設(蘇水苑、清流館)の運転管理・保守点検(専門業者委託)を行った設備の故障に対し、適切な改善策を決定し修繕を行った維持に必要な、水光熱費や動力費の支払いを行った須屋浄化センター解体関連実施設計業務を行った	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 塩浸川浄化センター、農業集落排水処理施設(蘇水苑、清流館)の運転管理・保守点検(専門業者委託)設備の故障に対し、適切な改善策を決定し修繕を行う維持に必要な、水光熱費や動力費の支払い
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 ア: 委託件数(保守、点検) イ: 補修件数	予算の主な増減の理由 須屋浄化センター解体関連実施設計業務委託料の減など
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 処理施設	(単位) 箇所 ア: 下水道汚水処理施設数 イ: 農業集落排水処理施設数	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア: 下水道汚水処理施設数 イ: 農業集落排水処理施設数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 処理施設を支障無く稼働させ、適正な処理水質を確保し河川に放流する。	(単位) % ア: 不具合やトラブルへの対応率	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) ア: 不具合やトラブルへの対応率
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠 不具合やトラブルの発生件数及びその対応率をみることで、塩浸川浄化センター、農業集落排水施設(蘇水苑、清流館)の機能が保持され、支障無く稼働できたかどうかを判断できると考えた。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
① 活動指標	ア 件	件	12	10	10	10	10	10	10	10
	イ 件	件	5	10	10	15	10	10	10	10
	ア 箇所 イ 箇所	箇所 箇所	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	1 1	1 1
③ 成果指標	ア %	%	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ %	%								
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	351,122	337,918	388,405	359,883	371,117	343,758	343,758
		繰入金	千円		18,243	23,242	23,242		23,242	23,242
	一般財源	千円								
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	351,122	356,161	411,647	383,125	371,117	367,000	367,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	8	8	9	10	10	10
延べ業務時間		時間	1,780	2,200	2,200	1,899	1,900	1,900	1,900	
(B) 人件費計	千円	7,041	8,672	6,772	7,525	6,772	6,772	6,772		
トータルコスト(A)+(B)	千円	358,163	364,833	418,419	390,650	377,889	373,772	373,772	367,000	

事務事業名	下水道汚水施設維持管理事業（処理場等）	所属部	水道局	所属課	下水道課
-------	---------------------	-----	-----	-----	------

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 施設に精通した専門業者に業務を委託し適切な運転管理、保守及び点検を行ったこと、また、各設備の故障や不具合に対し、適切な改善策を決定し優先度を判断して効率的かつ的確な修繕をおこなったことにより目標を達成できた。
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 日常の点検管理等により施設の状況を把握しており、突発的な不具合等に対して適切な補修等に対応することによる、目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 老朽化した施設の改善必要箇所を事前に把握することにより、不具合の発生や故障箇所を減少させ、円滑な運転管理につなげているが、施設の機能が保持されることが成果であり、向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似する他の下水道事業等の維持管理があり、作業的な連携は既に行っている。しかし、対象施設が明確に分けられており、現時点での統廃合はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要な維持管理業務のほとんどを委託し、最小のメンテナンス経費で運転管理しており、設備の増設はあっても、これ以上の削減はできない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現状でも最小の人員で、他の事業との兼務により取り組んでおり、これ以上の削減はできない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 合志市下水道条例に基づき、受益者から使用料を応分負担して頂いており、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 施設の運転及び維持管理業務のほとんどを専門業者に委託しており、その財源は使用者からの使用料である。技術的な専門性や緊急時の即時対応など、信頼性及び安全性の観点から、現時点で地域や住民に移行することはできない。

3 評価結果の総括（CHECK）

施設に精通した専門業者に業務を委託し適切な運転管理、保守及び点検を行ったこと、また、各設備の故障や不具合に対し、適切な改善策を決定し優先度を判断して効率的かつ的確な対応ができ、施設の機能が保持され、支障無く稼働できた。電気や機械など、特殊な設備が多く、不具合箇所の早期発見及び計画的な更新を行うため、専門業者による保守点検にも取り組む必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						